

じゃ蛇の造り方①

5月24日の朝から蛇造りは始まります。「ジガケ」で鉦^{かね}を鳴らし、それを合図に「安行原蛇造り保存会」の会員が集まり、分担して蛇の各部を造ります。

胴体

胴体は一握りくらいの藁束^{わらたば}を3人が一束ずつ持ち、縄を軸として一本に編んでいきます。藁束を編む3人の他、継ぎ足す藁を渡す人や出来た胴体を支える人が必要となります。こうして約10mの長さまで伸ばしていきます。



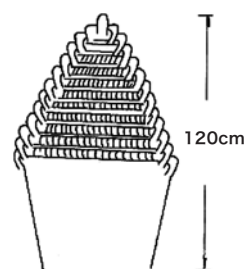
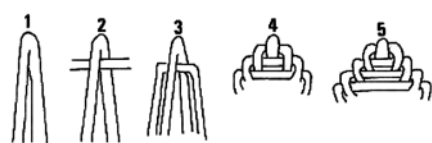
藁束を編んで胴体を作る



長く胴体を造っていく

頭部

蛇の頭は上顎^{うわあご}と下顎^{したあご}を組み合わせで造ります。上顎と下顎はそれぞれ7、8人がかりで藁を複雑に編み込み、ケヤキの大枝を組み込みます。上顎と下顎の造り方は同じで、出来上がりを見て上か下かを決め、最後に目や鼻の部分を取り付けます。



上顎・下顎の編み方



編み上げられた顎